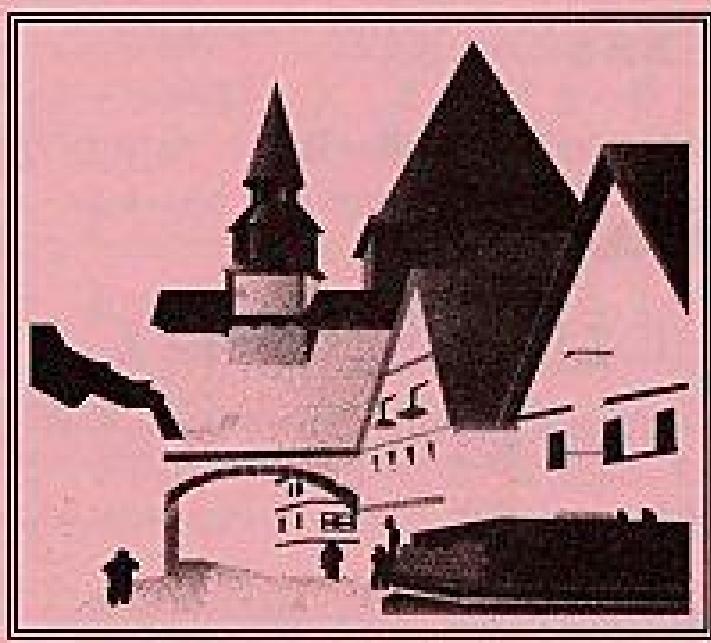


吹奏太郎



- ◆ 「指揮者と演奏者の皆さんへ」
…コンクール各審査員より
- ◆ マイバンド・マイミュージック
…矢板ウインドオーケストラ
- ◆ 各支部だより(県内各支部広報部員より)
- ◆ コンサートカレンダー 10月～12月

目 次

×理事長あいさつ	1
×横木県吹奏楽コンクール金賞受賞団体一覧	2
×指導者と演奏者のみなさんへ	4
×マーチングコンテスト結果一覧	7
×東関東大会入賞記録(一部)	7
×マイバンドマイミュージック(矢板N.O.)	8
×リーグー講習会参加者より	10
×各支部だより	11
×チューニング	15
×コンサートカレンダー	16

コンクールが終わってホッとして ・・・やってみよう！

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚武男

暑い夏と共に熱いコンクールが終わり、ホッとしている部員や顧問の先生が大方ではないかと思います。それと同時に、県代表となられた学校、団体は、また苦しい厳しい練習が続き、音楽に多くの迷いが常に漂っていることでしょう。

しかし、県の代表であり、誇りを持って練習を克服し、東関東大会で自分たちの音楽をパフォーマンスできることは素晴らしいことです。そして、他県の音楽と競り合うことや、コンクールに対する考え方や姿勢を知ることで、自分達が一步も二歩も進歩することでしょう。その経験によって、指導者はもとより部員達や団員達の考え方方が大きく飛躍し、明日の未来に発展するのです。

ところで、県大会でコンクールが終わってしまった大方の皆さんは、次の大会に向けての準備に励んでいることだと思いますが、「コンクールのつらかった音楽」を「楽しめる音楽」に変えようと見えましたか。つらかった音楽で終わってしまっては「音楽が好きになる人」にはなれません。

顧問の先生を中心として、自分たちで養った音楽を楽しいものにするよう皆で考えて見ましょう。これからでも遅くないのです。皆で出来る事を積極的に出し合ってみよう。

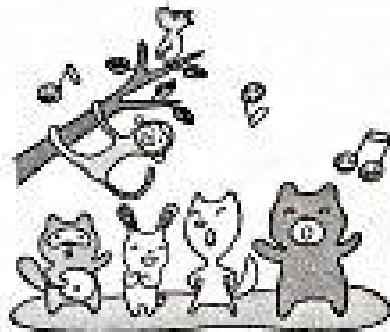
例えば、三年生は進学の勉強で忙しい、引退とか、時には楽をしたいとか、色々あろうかと思いますが、多忙な環境の中で、皆さんの独自の「音楽会」を開いてみてはどうでしょうか。それが大小様々で、どんな形のものであれ、単独で独自の演奏会を計画してみましょう。

いまだ、音楽会を開いたことのない学校は、とりあえず大きなことは考えず、校内の体育館、音楽室、校庭の片隅、または、公民館、コミセン、広場などで聞き、身内の人、友人と言った身近な人たちに聞いてもらうことです。

顧問の先生だけが考えたり準備をすると、負担が大きくなってしまい、その上、部員たちには楽しさが半減してしまったり、聞けずじまいとなってしまう場合があります。そこで、企画、様、演出、準備などは、できるだけ部員(生徒)に任せてみることが大切です。

大人から見れば不出来な状態に見えて、とにかく生徒たちにやらせてみることが一步前進であり、楽しさが残ることと思います。指導者はブランドを捨て生徒たちにやらせてみることが、生徒にとって大きな財産となり思い出となると思います。

このようなことはどなたでもお分かりだと思いますが、考慮心ながらあえて述べさせてもらいました。先生方が勇気あることを願って、音楽の好きになる生徒が一人でも多くなることを願っています。



第46回 県吹奏楽コンクール

7/23, 24, 25, 8/5, 6

於 宇都宮市文化会館

今年の吹奏楽コンクールは、各部門においてこの夏の猛暑に負けない程の熱演が続きました。そして、大きな感動を呼んだコンクールとなりました。審査員の先生方をうならせ、また、客席の多くの聴衆に大きな感動を与えました。

《各部門の金賞受賞団体》 (★→県代表、〔 〕→参加団体数)

(団体名)

(演奏曲目)

(作曲者)

(指揮者)

◎中学校 B 部門 [83校] (★→8/6 県代表選考会出場)

1班 7/23

- 高根沢町立 沢久津中学校
- ★☆野木町立 野木第二中学校
- ★☆西那須野町立 三島中学校
- ★☆今市市立 落合中学校
- ☆西方町立 西方中学校
- 小山市立 小山城南中学校
- ☆作新学院中等部
- ☆湯津上村立 湯津上中学校
- ★☆今市市立 今市中学校

2班 7/24

- 二宮町立 久下田中学校
- ★☆真岡市立 真岡中学校
- ★☆小山市立 小山第三中学校
- 日光市立 東中学校
- ☆黒磯市立 黒磯中学校
- ☆小山市立 間々田中学校
- ★☆壬生町立 壬生中学校
- ☆宇都宮市立 若松原中学校
- ☆真岡市立 真岡西中学校

- 「朝鮮民謡の主題による変奏曲」(チャンス) 平久保恵子
- 「ウィズ ハート アンド ヴォイス」(ジョン・ガード) 増崎 正法
- 「動物の謝肉祭より I, II, III, IV」(ジョン・チャーチ) 矢板 浩美
- 「祭礼の舞」(ホルジンガー) 宇賀神 一
- 「飛鳥」(畠田 欽之助) 川田美由紀
- 「ウィズ ハート アンド ヴォイス」(ジョン・ガード) 阿部 悟士
- 「シャイン アズ ザ ライト」(グレアム) 大橋 友子
- 「レインボー ウォーリア」(フラケ) 吉沢 哲也
- 「ヴォルケーノ」(ロースト) 小野 貴史

- 「(アルプスの詩) より」(チャザリーニ) 織本 考夫
- 「光の中へ(マザーテレサの生涯に寄せひより)」(平田英知) 沢尾 和子
- 「ロード タラモア」(ヴィートロック) 金森真由美
- 「ロス ロイ」(ハーン) 星野由美子
- 「フェスティーポ」(エリベル) 井元 那月
- 「(サムソンとダリラ) よりバッカナル」(サンサンズ) 森口 審子
- 「交響組曲(もののけ姫) 3章」(久石 謙) 田中 修
- 「ホーブタウン ホリディ」(ライニキー) 綾崎 靖子
- 「吹奏楽のための交響詩(大地の歌) より 13」(平田英夫) 白井 鈴子

(7月23日、24日の審査員)

服部 吉之 (はっとりよしゆき: 木管 Sax.)

荒谷 優治 (あらたにしゅんじ: 指揮) 福田 晶範 (ふくだまさのり: 金管 Eup.)

塙田 靖 (つかだやすし: 打楽器) 森田 一浩 (もりたかずひろ: 作曲, 編曲)

◎小学校部門 7/25

[9校]

- ★真岡市立 真岡西小学校
- ★宇都宮市立 五代小学校
- ★今市市立 大室小学校

- 「金の糸 銀の糸」(磯崎 敏博) 小倉 伸一
- 「ハイランド賛歌よりアードロスキヤッスル」(スパーク) 第池久美子
- 「紅炎の鳥」(田中 賢) 星野 淳

◎中学校・高校・大学 C, D 部門 7/25 (中 C.1校 高 C.3校 高 D.3校 大 D.1校)

- 県立 宇都宮北高校 C
- 県立 石橋高校 D
- 作新学院高校 D

- 「序曲 ハ調」(カテル) 菊川 裕一
- 「歌劇(小鳥売り) セレクション」(フェラー) 栗田 芳子
- 「ラブソディア」(フィン) 石塚 武男

①大学・一般部門 7/25

〔大学 2. 一般 6〕

★宇都宮ウインドクルー

課題曲 I 「序曲 ピータールー」(アーノルド) 田村 和久

★小山市交響吹奏楽団

課題曲 I 「(G)よりシンフォニックセレクション」(天野正道) 原 進

★足利市民吹奏楽団

課題曲 I 「(ラ・マンチャの男)セレクション」(レ) 斎藤 俊也

(★ 大学の部・県代表 白鷗大学ウインドオーケストラ (銀賞))

(★ 一般の部・県代表 矢板ウインドオーケストラ (銀賞))

〔7月25日の審査員〕

梶原 征剛 (かじわらせいごう: 教育 Trb.)

岡崎 明義 (おかざきあきよし: 教育 Fl.) 高倉 正巳 (たかくらまさみ: 指揮 Eup.)

織田 準一 (おりたじゅんいち: 金管 Trp.) 山本 真理子 (やまもとまりこ: 打楽器)

②高等学校 B 部門

8/5 (33校)

★県立 真岡高校

「中国の不思議な役人」(バルトーク)

岩原 篤男

★県立 宇都宮清陵高校

「暗闇から光へ」(スパーク)

渡邊 型子

國學院大學柳木高校

「バガニーニの主題による幻想変奏曲」(バガニーニ) 古澤 三夫

★県立 柳木南高校

「ミス サイゴン」(シェーンベルグ)

前橋 亘子

★県立 石橋高校

「交響詩 (アルプスの詩)」(チザリーニ)

栗田 芳子

★県立 宇都宮南高校

「リチャード三世シェイクスピア・シナリオより」(ウォルトン)

後藤 和子

③高等学校 A 部門

8/5 (7校)

★作新学院高校

課題曲 IV 「瑜伽行中観 (吾妻鏡異聞)」(天野正道) 三橋 英之

★県立 今市高校

課題曲 I 「ウィズハート アンド ヴォイス」(ギリングハム) 柴田 高志

★県立 矢板東高校

課題曲 I 「シシレラ (陸和歌引シタシシシタマツリ・ミツカイ)」(河口仁) 手塚 淳雄

④中学校 A 部門

8/6 (20校)

★矢板市立 矢板中学校

課題曲 I 「ラ・ボエーム・ファンタジア」(ブッチャーニ) 小池 春男

★宇都宮市立 姿川中学校

課題曲 II 「喜歌劇 (美しきエレーヌ) 序曲」(オノフニヤウ) 福田 隆夫

★宇都宮市立 陽西中学校

課題曲 I 「トッカータとフーガ」(バッハ)

松本 光昭

今市市立 大沢中学校

課題曲 I 「エアロダイナミクス」(ギリングハム)

斎藤紀美子

〔8月5日、6日の審査員〕

長倉 稔司 (ながくらにじょうじ: 金管 Trp.)

秋山 紀夫 (あきやまとしお: 指揮 教育) 日比 一宏 (ひびかずひろ: 打楽器 教育)

新井 靖恵 (あらいやすし: 木管 Sax.) 清 彰 (よどあきら: 作曲 編曲)



高校 A 部門で金賞を受賞した宇都宮清陵高等学校

指揮者と演奏者の皆さんへ

吹奏楽コンクール各審査員より

今年も7月の栃木県吹奏楽コンクールにおいて、審査員の各先生方に各部門ごとに感想や今後の課題などについて伺ってみました。良い部分は確認して更に充実させたり、改善点は早急に課題として取り組むなど、今後の演奏活動や次年度のコンクールに向けての踏み台としてください。

◆ 7月23日・24日 中学校B部門

【演奏者(生徒)の皆さんへ】

- ・みなさん短期間に(特に1年生)頑張っているのがとてもうれしく思います。練習の時に「良い音、良い響き、正しい音程とは?」など、いつもイメージしましょう。そして、いつも自分の音に責任をもちましょう。
- ・全体にセッティングが遅い。生徒が相互に助け合う姿が少ないよう思う。
- ・力まかせの音色の団体が多い。
- ・楽しく演奏するためには基本の練習(少し辛い)を十分に積むことが大切です。
- ・先生の言うとおりにだけでなく、自分の耳、自分の感覚を大切にして、自分で判断して演奏する積極性を大切にしてください。
- ・他の楽器の音をよく聞くことに、もっと強い意識をもってください。

【指揮者の皆さんへ】

- ・要求したいこと。1.楽曲のアナリーゼをしっかりとすること。2.必要な場合は最小限でアレンジ等ができる力をつけること。3.ステージ上の配置をもっと研究すること。3.指揮法の基本をしっかりと勉強すること。4.選曲はレベルと編成を考えて選曲すること。
- ・女性の指揮が皆さん上手です。
- ・管楽器の美しいハーモニーを打楽器で壊してしまっている部分が多くありました。打楽器の演奏にもう少し工夫が必要です。
- ・楽譜の読み方が浅いように思われる。楽譜に f と書いてあるから機械的に f で演奏していることが多い。音の意味、音楽の流れを通して必然性のある演奏を期待する。
- ・打楽器の配置が、管楽器と離れすぎている団体が多くありました。
- ・最後に生徒を起立させたとき、体の向き(正面を向かせる)や楽器の持ち方や姿勢(統一させる)にも配慮していただきたい。
- ・男性の指揮者で半袖(Y)シャツ姿はどうかと思います。上着を着るべきと思います。

【その他】

- ・タイムテーブル通りの進行で、気持ちよく審査できました。ありがとうございます。
- ・楽器移動のとき(特に打楽器)、指揮台付近を大きく開けて安全に通れる配慮が必要。また、舞台はもう少し明るい方が安全です。
- ・ステージに入場、退場するときの生徒の楽器の持ち方が気になる。体の横で片手でぶら下げるよう楽器を持つ生徒、Tubaなど管の一部に手首を通して(ぶら下げて)いる生徒が目立つ。移動するとき、楽器は体の前で赤ちゃんを抱くような気持ちで大切に扱って欲しい。楽器を粗末に扱うような団体は演奏も良くないことが多い。

◆ 7月25日 小学校・中高C・D・大学・一般部門

【演奏者の皆さんへ】

◇ 小学校

- ・大変素晴らしい演奏でした。セッティングにもう一工夫欲しい学校もあった。
- ・とてもレベルの高い演奏で驚きました。

- ・素晴らしいバンドばかりでした。コンクール以外での演奏の活躍を期待します。
- ・「好きこそもの上手なれ」の諺のとおり、音楽を好きになることが一番です。今後、さらに多くの小学校の参加が望れます。

◇中高 C, D

- ・基礎のしっかりしている団体と、そうでないものとに分かれてしまつたようだ。すべての演奏者において基礎は充実させて欲しい。
- ・きちんとした演奏が多いのに驚きました。
- ・ユニークな楽器編成でも、素晴らしいサウンドや音楽作りに努力している姿には感心しました。これからは一人一人の技術力UPが大切です。
- ・デュエット、トリオなどの練習を多く取り入れ、響きの中でピッチやバランスを体感し、感覚を鍛える努力をすると良いと思います。



◇大学

- ・いい指導者がつくと良いと思います。全体にレベルアップを期待します。
- ・個人的に技術を磨く時間が必要です。合奏だけでは音楽の向上はありません。

◇一般

- ・レベルが非常に高い演奏です。お客様を増やす様、努力して欲しい。
- ・人数の多い団体は、それなりにバランスを工夫する必要があります。やや“吹きすぎ”が気になりました。

【指揮者の皆さんへ】

- ・小学校であまり難しい曲をやることには、賛成できません。広い意味での基本を充実させる意味で、シンプルで音楽的にもわかりやすい選曲をお願いしたい。
- ・特に、Pの部分なのに大振りをする指揮者が目立ちました。音楽の流れに合った自然な動きを大切にして欲しい。
- ・張り切りすぎて空回りしている指揮者も見受けられる。演奏者側に立って棒を振る(プレスができる)ことが必要です。
- ・“素晴らしい演奏は素晴らしい指揮者から生まれる”ことも事実です。更なる研鑽をお願いしたい。
- ・演奏者の技量に合った選曲をお願いしたい。特に、小学校やその他の初心者に対しては、音楽や曲を通して一人一人が伸びていくことを大切に考えるべき。

【その他】

- ・手伝いの高校生諸君の態度や行動がとても良い。良く気が利き、有り難い。

◆ 8月5日 高等学校B部門・高等学校A部門

【演奏者(生徒)の皆さんへ】

◇高等学校B

- ・B組のレベルの高いことに驚き感心しました。これらすべての先生方のご努力に感謝したいと思います。
- ・地域性なのでしょうか、音色にやや荒さが目立つバンドが多いように感じました。もう少し肌触りの良い一つやかな音色、のびやか、しなやかな響きが欲しいと思います。
- ・各楽器の正しい基本奏法にもっと目を向けていただきたい。
- ・基本的に音楽をもっと楽しむ姿勢が必要です。
- ・強奏の時にアタックばかりが目立ち、響きが足りなくなるので注意して欲しい。

◇高等学校A

- ・力のあるバンドばかりの熱演でした。ただ熱演が表面に出過ぎてコントロールを失うバンドもありました。折角、技術があるのに“惜しいな”という気もしました。
- ・全体にとてもレベルが高い。強奏時の音色とアタック、タンギングに課題を感じた。
- ・大接戦でした。皆さんとても上手です。結局サウンドの美しいバンドが有利です。

【指揮者の皆さんへ】

- ・B組の女性指揮者は全体の34%で、それぞれの方が上手で風格があり、かつ精力的で素晴らしいと思いました。他県には見られない橋本の特質かと思います。
- ・歌い回しの研究がもう少し必要な、と感じました。
- ・音楽の流れにそぐわない動きを感じる方が少し見られ、気になりました。
- ・B組で人数や実力に合わない選曲が見られました。
- ・演奏後の生徒の起立のさせ方は、もっと自然な動きが良い。不ぞろいはみっともないが、そろっていても演奏最後の音の余韻が消えない内に(早すぎて)起立したり、パンツと足音をたてて飛び上がるような(勢いが強すぎる)起立は、やや目障りを感じる。

【その他】

- ・時間的なずれもなく立派なコンクール運営だと思います。
- ・ステージで各楽器、パートがバランスよく(美しく)セッティングされている学校は演奏も良いように思います。また、セッティングや片づけが素早くできる学校も、演奏が素晴らしいことがほとんどです。セッティングの様子と演奏の審し悪しとは、ほぼ比例するように思います。

◆ 8月6日 中学校B部門 代表選考会、中学校A部門

【演奏者(生徒)の皆さんへ】

○中学校B代表選考会

- ・*f*、*ff*など力まかせに無理に音を出すことの無いよう注意してください。
- ・ピッチや音色が不安定な演奏が目立ちました。打楽器はリズムを覗ったり曲想に合う表現を工夫したりと云った主体性があまり感じられなかった。

○中学校A

- ・強奏時の音色が少し難になります。注意してください。特に課題曲はもっとていねいに演奏して欲しいと思いました。
- ・良い演奏は、「この曲を通して自分たちがどういう表現を聞き手に伝えたいか」という“主張”を持っているバンドだと思います。それが無く、ただ演奏しているだけでは聞き手に感動を与えることはできません。
- ・音楽、特に吹奏楽はまず何より「美しい音」必要です。自分の音を聞き、つややかな美しい音色を作り上げる努力をしてください。

【指揮者の皆さんへ】

- ・子ども達にとっては難しい曲が多かったと思います。・バンドのトレーニング方法についてもっと研究して欲しい。理想的なバンドのサウンドとはなど、研究して欲しい。
- ・生徒とバンドの力に合った選曲をお願いしたい。
- ・高校Bの充実に対して中学校Bは、すば抜けた団体が無くトングリの背比べ的でした。また、Aも含めて選曲に疑問を持つ団体が多く、曲に対しての研究が必要でしょう。(同様1)
- ・生徒には音量の要求ばかりではなく、音色を大切にする指導をしていただきたい。
- ・必要以上の*f*など、ちょっとがんばりすぎな所が目立ちました。
- ・A、B共にTemp.のバチが硬すぎると思います。特に“赤玉マレット”はペリーハードでめったに使わないものです。どちらかと云うと特殊な場合に使うものですが、皆さん当たり前に使っています。頭が軽く楽器が響きにくいけれどですので、注意して使ってください。
- ・各部門とも音量の未整理のバンドが多いように思います。全員が*f*と書いてある箇所でも、各奏者の技量の差で場合によっては*mf*で吹く生徒がいたり、また逆だったりしたほうが良い場合があるはずです。出すがままになるのは禁物です。

来年のコンクールも、人の心を打つあたたかい音楽を響かせましょう！

第17回 栃木県マーチングコンテスト

第3回 栃木県小学校バンドフェスティバル

8/25 於 栃木県立県南体育館

恒例となった栃木県小学校バンドフェスティバルと今年で17回を数える栃木県マーチングコンテストが、8月25日(水)に県立県南体育館(小山市)で開催されました。それぞれの学校とも個性のある演奏、演技を披露し、会場からは盛大な拍手が送られていました。

尚、出場した下の6団体が栃木県代表として東関東大会に出場することになりました。

◆ 小学校バンドフェスティバル	〈テーマ〉	〈指導者〉
銀賞…宇都宮市立 姫川第一小学校	《仲良し姫川っ子》	丸山 雄史
◆ マーチングコンテスト		
(フリースタイルの部)		
優秀賞…那須町立 那賀中学校	《JUBILUS》	小沢 茜、他
優秀賞…葛生高等学校	《FIRST STEP》	奥儀 和弘、他
(パレードコンテストの部)		
銀賞…石橋町立 石橋中学校	《未来へ向かって～石中ドリーム2004》	坂本美保、他
銀賞…壬生町立 壬生中学校	《The pleasures of a march》	田中 慎
(フェスティバルの部)		
金賞…県立 小山城南高等学校	《城南轍 2004》	山本 伸子



《東関東吹奏楽コンクール・入賞記録》

(本県出場団体・数字は出演順)

◆高等学校A部門

(9月11日 千葉県文化会館)

- | | |
|--------------|------|
| 2 県立今市高等学校 | 《銀賞》 |
| 13 作新学院高等学校 | 《金賞》 |
| 20 県立矢板東高等学校 | 《銅賞》 |

◆中学校B部門

(9月11日 宇都宮市文化会館)

- | | |
|----------------|------|
| 1 西那須野町立三島中学校 | 《銅賞》 |
| 7 小山市立小山第三中学校 | 《銅賞》 |
| 12 壬生町立壬生中学校 | 《銅賞》 |
| 21 今市市立落合中学校 | 《銀賞》 |
| 24 野木町立野木第二中学校 | 《銀賞》 |
| 25 今市市立今市中学校 | 《金賞》 |
| 31 真岡市立真岡中学校 | 《銅賞》 |

◆中学校A部門

(9月12日 千葉県文化会館)

- | | |
|--------------|------|
| 2 宇都宮市立陽西中学校 | 《銅賞》 |
| 9 宇都宮市立姿川中学校 | 《銅賞》 |
| 20 矢板市立矢板中学校 | 《銅賞》 |

◆一般・団体部門

(9月12日 宇都宮市文化会館)

- | | |
|-----------------|------|
| 3 宇都宮ウインドクルー | 《銅賞》 |
| 11 矢板ウインドオーケストラ | 《金賞》 |
| 12 足利市民吹奏楽団 | 《銅賞》 |
| 21 小山市交響吹奏楽団 | 《金賞》 |

*他の部門は次号に掲載します。

矢板ウインド オーケストラ

- 団長 守田 浩樹 (矢板市議会議員)
- 顧問 長谷川 勝美 (元矢板市議会議員)
- 顧問 鶴井 次郎 (日本マーチングバンド指導者協会理事・事務局長)
- 音楽監督 黒尾 実 (常任指揮者)
- 運営委員長 岡田 敏・副運営委員長 宮田 麻子
- ・事務局…矢板市荒井 402-33 アン-シット B-101・団創設…昭和 57 年 12 月
- ・団員…67 名 (男子 24 名、女子 43 名)

周囲に那須連山、高原山、そして男体山をも仰ぎ見る矢板市。その中心に位置する矢板市文化会館を本拠地として矢板ウインドオーケストラが活動しています。県北部地区の一般バンドでは唯一、吹奏楽コンクールに毎年出場し、素晴らしい実績を積み重ねています。今年の東関東吹奏楽コンクールに於いても、感動的なサウンドにより見事に金賞を射止めました。

—ごあいさつ（団長 守田 浩樹）—

矢板ウインドオーケストラの歴史は、昭和 57 年に矢板ウインドアンサンブルとして創立し、クラリネット奏者の黒尾 実氏を音楽監督兼常任指揮者に招き、音楽に情熱を傾けた何名かの市の職員たちの協力により、演奏活動が昭和 58 年 6 月に第 1 回定期演奏会より始まりました。人数や楽器の不足を補うために指揮者自身の編曲、その他工夫がなされ、練習会場等…困難の中、とにかく矢板ウインドアンサンブルの演奏会が開催されたのであります。それから 20 余年、歴史の重みがひしひしと感じられます。

去る 2 月に、前栃木県吹奏楽連盟理事長の手塚 豊先生が急逝されました。手塚先生は、当オーケストラの顧問であるとともに指揮者として幾度となくステージに上がり、当オーケストラの発展を支えてこられました。そのお力添えにより 39 回目の定期演奏会を迎えられ、そして吹奏楽コンクール等、著しいレベルアップを図り、最近では過分な程の高い評価をいただくようになり、団員も 60 名余りと、発展の一途をたどっています。

私は、音楽への情熱と何ごとにも謙虚でおられるマエストロ黒尾氏、そして団員たちの音楽に対する真摯な憧れとひたむきな努力がある限り、矢板ウインドオーケストラは永遠に続くものと信じています。そして、皆様方より益々愛される「矢板ウインドオーケストラ」にしたいと考えております。

創立以来、ご指導、ご協力と深い愛情を注いでこられた皆様方、そして吹奏楽連盟の方々に深く感謝するとともに一層のご指導とご支援をお願いする次第であります。

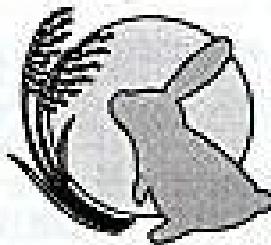


—活動主旨—

吹奏楽および室内楽演奏活動を通じて、栃木県及び矢板市の芸術・文化の向上発展と青少年の情操教育に寄与すること、そして、一人でも多くの人達に音楽を親しんでいただき音楽人口を増やしていくとともに当楽団の発展を目的としています。

演奏活動

矢板市文化会館での年2回の定期演奏会、栃木県赤十字血液センター協賛による「矢板愛の献血会」献血キャンペーンコンサート、吹奏楽コンクール、また、ツインリンク茂木等での依頼演奏や、矢板市民講座、市内保育所等にて室内楽のコンサートと、多くの活動が続いております。



活動内容

現在までに38回の定期演奏会、連続16年の献血キャンペーンコンサート、吹奏楽コンクールには、県代表として関東、東関東大会に14年間連続出場。市の施設等でのコンサートは20余年と、制約の多い社会人バンドにしては非常にハードなスケジュールをこなしております。

練習内容と指揮者の横顔

週一度、矢板市文化会館において、午後6時からの練習が始まる。一人ひとりのロングトーン、スケールが聞こえてくる。指揮者が見えるまで音色作りとチューニングを約1時間。さあ、全体練習。指揮者からの細かい要求が始まると、フレーズ、フレーズまたフレーズ、そしてリズム、ハーモニーと厳しい指導が展開されていく。あっという間に時間が過ぎ、休憩時間。その間にも指揮者は個人レッスン、クラリネットのリード作り、アンプ・チュア、ファインガリングのチェック…。短時間で書きを作り、充分に歌わせてくれる黒尾先生の藝術性豊かな指導に、団員全員が音楽をする世界へと入りこんでしまう。練習がとても楽しく苦痛にならない。

このような音楽をする喜びを教えてくれるマエストロ黒尾先生は団員から絶対的な信赖と支持を得ている。他にも水戸シンフォニックアンサンブル、新潟大学管弦楽団の指導を行っている。マエストロのレッスンの様子を見学できるならばと、距離的なことなど關係なく何人かの団員がついていく。やはり、そこでも団員、学生から多大なる信赖を得ている。

マエストロはいつも“よい演奏を、特に室内楽を聴きなさい”とうるさい。私達はマエストロの室内楽演奏会に極力足を運ぶ。やはりクラリネットを楽しくそして深く歌いこむ姿勢は客席を喜ばせてくれる。

（このようなマエストロの音楽への情熱が音楽をする私達にとって強い刺激となり、また、喜びとなり最高の幸せと、私達は感謝しております。）

練習会場及び日程

矢板市文化会館、または矢板公民館で毎週木曜日午後6時から9時半まで練習を行っております。必要に応じて月に1回～2回の日曜日の練習を行っております。

団員募集

当オーケストラでは常時、団員募集を行っております。年齢、楽器パートは問いません。初心者でも結構です。県内外問いません。現在、県外の団員は、東京4人、埼玉2人、福島3人、茨城3人と遠距離から練習に来ております。インターネット及びコンクール等で知り入団してきた方です。女性が圧倒的に多い当オーケストラですが、特に男性の方、心からお待ちしております。



MY BAND・MY MUSIC-----END

△ ♥ 吹奏楽活動を盛り上げるための要件はいろいろなことが挙げられますが、特にスクールバンドにおいてはリーダーの養成がとても重要です。

毎年、2月に行われている「吹奏楽リーダー講習会」は、県内のスクールバンドの部長、副部長、パートリーダーなどのリーダーが集合し、いろいろな講習と交流を通してお互いに切磋琢磨できるとても意義深い活動です。少し遅くなりましたが、前回、今年2月に行われた講習会での参加者の声をまとめてみました。♥

二日間を通して、一番思った事は「モデルバンドに参加して良かった」ということです。三年生が引退して不安だった所は、今では、自分で努力しなかっただけだった、ということに気づきました。多くのことを学びましたが、特にリーダーの高校生の皆さんにはただ演奏の技術だけじゃなくて、自分がリーダーということを自覚していく最後まで自分の仕事をやりとげていた所もすこいと思いました。とにかく参加して良かったです。(中学生 A. K)

△ ♥ こんなのは絶対できない。と思っていた曲なのに、この二日間、先生の言葉や先輩のアドバイスを励みに、そして、自分の気持ちを改めてがんばりました。今日の演奏は、自分の中で一番上手にできたと思います。「これからもっと上手になりたい。」と心から感じていきました。本当にいい二日間でした。(中学生 N. T)

△ ♥ この二日間はとても充実したものでした。高校生と接したり演奏したり、とても貴重な二日間での事を忘れずに、自分の学校にそのままもち帰りたいと思いました。一日目は、何もできなかった私が二日目には自分から質問できる自分がいました。今日の自分を忘れずに、これからも過ごしたいと思いました。お世話になった先生そして関係者の方、高校生のパートリーダーの方ありがとうございました。最高の思い出になりました。(中学生 A. M)

△ ♥ 二日間の練習で「自分を変える」第一歩を踏む事ができました。見た目と違って内気な私は初め不安ばかりで頭がいっぱいでした。でも、二日間でみんなと仲良くなれ、まわりもよく見る事ができました。「心も演奏も成長する。」このテーマは、これからもずっと自分の課題にしていきたいと思います。悔いのないとても充実した二日間でした。またいつかこのメンバーで演奏したいと思います。とても良い勉強になりました。(高校生 M. H)

△ ♥ この二日間とても楽しく多くのことを学んだ。講習する前の自分と後の自分は違うと思う。ここで学んだ積極性・自主性・リーダーとしての自覚それぞれとても心に残った。「音の長さ」「パートで合わせる」いろんなことが学べた。ここで得たものをこれからも「具体的な練習」「指揮のふりと演奏者の息を合わせる」その先ずっと続けていきたい。とても素晴らしい二日間、参加して良かった。(高校生 S. M)

△ ♥ この二日間は、私にとって忘れられない経験になりました。自班の目標である「心も演奏も成長する!」私は自分自身、気持ちの面でとても成長したと思います。もうこのメンバーで演奏する機会がないと思うと、とても悲しいです。昨日、初めて会ったメンバーなのにここまで自分達が出来たという事に驚きも感じています。加藤先生がおっしゃっていた「こんなに頑張っている高校生もいるんだぞ!」という言葉が、とても心に残っています。これからも音楽を楽しみたいと思います。(高校生 M. Y)

△ ♥ ありがとうございました。今度のリーダー講習会にも積極的に参加しましょう!

各支部だより

塩谷・那須支部

「県コンクールを終えた感想」や「今後の活動」について各学校からの活動報告です!!

県立島山女子高校

私たちは、コンクールで銀賞を受賞しました。コンクールのあと新体制になり少人数になった今、少人数だからこそできるできるサウンドと「真剣に取り組み人を感じさせる最高の演奏を」という目標達成を目指して頑張っています。

副長 花塚淑子さん

県立大田原高校

県コンクールを終えて、自分達にさらに必要なことについて学びました。これから1、2年生だけの活動となるので、それらを忘れずに基礎練習を中心に、練習に励んでいきたいと思っています。

副部長 碇 啓介さん

高根沢町立阿久津中学校

本校の吹奏楽部の歴史は浅く、今年は吹奏楽コンクールに5回目の出場で、初めて金賞を受賞することができました。5年前はゼロからのスタートだったので、ここまで来るにはとても長い道のりだったように感じます。本校の吹奏楽部がますます発展していくように、これからも頑張っていきたいです。

顧問 平久保恵子先生

南郷瀬町立下江川中学校

私たちは、部員数49名で活動しています。夏のコンクールでは、よい成績を残すことはできませんでしたが、ひとりひとり新たな課題が見つかりました。その課題を克服し、地区芸術祭でよい演奏をするのが目標です。部員一同、毎日頑張っています。

副長 戸谷留美さん

高根沢町立阿久津小学校

私たちは今年初めてコンクールに出場しました。演奏が終わってから、精一杯自分たちの力を發揮できたのでよかったです。今回の経験をもとに、さらによい演奏ができるように、心をひとつにして練習を重ねていきたいと思います。

副長 黒田妙矢さん

高根沢町立西小学校

今年初めて吹連に加盟し、コンクールにも出場しました。子どもたち、保護者、指導者がみな緊張しましたが、とてもよい経験になりました。秋の芸術祭やフェスティバルに向けて頑張っています。

講師 村上陽一先生

南郷瀬町立荒川中学校

夏休みに町の行事があり、休みもほどほど…。2学期は芸術祭やコンサートなど行事が盛りだくさんです。年々コンサートに来てくださる方が増えて嬉しいかぎりです。今年も気合いを入れて行きます！

顧問 遠 緑先生

湯澤上村立湯澤上中学校

私たちは、コンクールで心に残る演奏をすることができました。特に代表選考会で演奏させていただける機会を与えていただき、予選以上にのびのびとした演奏ができました。これからも自分達にとって、そして聴いてくださる方にとって「いつまでも忘れることのできない演奏」ができるように頑張っていきたいと思います。

副長 佐藤 悅さん

墨俣市立墨俣中学校

この大会で私たちは、今までで初めてといわれる金賞を受賞することができました。そのうえ、代表選考会への出場権を得ることができ、県代表にはなれなかったものの、私たちにとって最高の思い出となりました。

コンクールまでの私たちの目標は「銀賞を獲物！」というでした。私たちの使っている楽器はとても古く、いろいろと大変なことが多くありました。しかし、そのような状況にいた私たちは、先輩方のおかげで銀賞をとることができたのです。それを「私たちがまた銀賞になるわけにはいられない！！」皆口々にそう言しながら練習をしていました。そんな中、今年悲中に赴任された合唱専門の井元先生は、初めて指導する吹奏楽にも関わらず熱心に教えてくださいました。基礎練習が私が思っていた以上に大切だということ、何より、ただ吹くのではない、自分たちで考えて音楽というものを広げていくのだと教えられました。井元先生だけではありません。片岡先生、大藏先生、そして保護者の方々にも私たちは支えていただき、金賞をとることができたのです。

私たちにとってこの大会は、最高の思い出として残っています。そして、この経験を生かして、部員一同吹奏楽に全力を尽くしていきたいと思います。

副長 渡部恭子さん

安蘇・佐野支部

6月26日（日）、佐野市立大伏小学校会場に、栃吹連顧問の丸山雄史先生を講師にお迎えして、「児童が自主的に練習を行う方法」（児童だけで行える基礎練習）をテーマに実技講習会を行いました。パートリーダーを中心に、全パート、約50名の参加がありました。

丸山先生から、記号や調号について分かりやすいお話を伺ったあと、ロングトーンや指揮の方法、チューニングの仕方などを、実技を通して教えていただきました。「こんなちはトランペット」を参加者全員で演奏し、閉会となりました。

また、指導者である我々にも、「子どもたちができることは、子どもたちができるように指導していくこと」の大切さを教えてください、とても勉強になりました。

丸山先生はとても優しく、温かく、丁寧に教えてくださいました。本当にありがとうございました。

＜参加者の感想＞

- 今回の講習会はとても良かった。最後に全員で演奏したのも良かった。（指導者より）
- 丸山先生が、優しく分かりやすく教えてくださった。全パートが対象だったので、これから練習に生かすことができると思う。（指導者より）
- いろいろな曲や音階などを詳しく教えてもらえたのでごくうれしかったです。これからは教えてもらった曲などを、練習のときにたくさん練習したいと思います。
(C I A. M)
- 今日は、丸山先生に教えていただいたいろいろなことが分かってよかったです。初めて知ったことがたくさんありました。この経験を生かして、これからも新人部員や5年生と一生懸命練習していきたいです。
(T u O. M)

足利支部

2学期が始まり、「芸術の秋吹奏楽部の出番が多くなる季節です。どの団体も、様々なイベントに向けて練習を開始していることでしょう。この秋の活動予定について、市内の中学校2校の部長さんに聞いてみました。

♪ 今年はコンクール出場の他に、老人会や小学校、お祭りでの演奏会もあり、地域の方々に坂西中吹奏楽部に親しんでいただく機会が多くあります。大会で良い成績を残すだけでなく、多くの人に吹奏楽の良さを知ってもらい、音楽の楽しさを伝えられたらと思います。
(坂西中 3年 森田 菜友美さん)

♪ 私たち西中吹奏楽部は、学校音楽祭や体育祭に向けて日々練習に励んでいます。今年の栃木県吹奏楽コンクールでは、自分たちの力が出し切れず、納得する演奏ができませんでした。しかし、この反省を活かして基礎練習を変えたりしました。学校音楽祭では、一人一人が自分の納得した演奏ができればいいな、と思います。目指すは、県大会出場！！
(足利西中 3年 関根 増美さん)

宇都宮・河内支部

皆さんこんにちは、宇都宮支部会です。

各支部の中で最大の小・中・高あわせて約70校の大所帯です。支部の主な活動は、主に中・高対象の実技講習会や宇河地区スクールバンドフェスティバルの開催などです。

また、各学校の活動も大変盛んです。今回はその中の2校に8月に行われた演奏会の報告をしていただきます。

<宇都宮市立姿川中学校 第2回定期演奏会>

みなさん、こんにちは。姿川中吹奏楽部です。今年2回目となった定期演奏会(8/22)は、客席がほぼ満員の大成功をおさめました。

第一部の「響けステージ」では今年度の大会の曲を、第二部の「ワイワイステージ」ではみなさんの知っている曲で、パフォーマンスなどを中心に楽しく、そしてラストの第三部「ガヤガヤステージ」では、O.B・O.Gの先輩方と一緒に全体を通して客席のみなさんと一緒になる楽しいステージになりました。

<栃木県立宇都宮南高等学校 Summer Concert>

宇都宮南高初のSummer Concert(8/29)は、吹奏楽コンクール・甲子園の応援と忙しい中ではありましたが、心に残る演奏会になりました。

企画にあたっては、「みんなで創る演奏会」を目標に準備を進め、演奏では「聴衆に感動を与え、私たちも感動できる音楽づくり」をモットーに、意見を出し合いながら曲を創りました。音楽を心から楽しむという原点にかえり、会場の皆様と共に音楽の素晴らしさを実感することができたと感じています。

ご協力、そしてご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

☆宇都宮支部の先生方へ…演奏会等の情報がありましたら、広報部員(上三川高 細野)までご一方ください。コンサートカレンダーに掲載させていただきます。

下都賀・栃木支部

5月20日(日)に楽器別講習会が、都賀中学校で行われました。生徒は、初心者と2・3年生に分かれ、午前と午後2時間ずつ講習を受けました。今回の支部だけは、生徒の感想をいくつか紹介します。

- ・初めてだったけど、優しく丁寧にたくさんことを教えてもらえたので、これから3年間この経験を生かして、クラリネットが上手に演奏できるよう、頑張って行きたい。
- ・まだ教わったことのなかった事や、今まで間違って覚えていたことを指摘してもらえて良かった。
- ・基礎がしっかりとおさえられていなかったことがよく分かりました。
- ・今日教えていただいたことをしっかり覚えて、自分も今の先輩力のように、後輩たちに指導できる先輩になりたいと思います。

楽器に触れたばかりの1年生。講習が終わると、幾分疲れた表情も見られましたが、この講習会は生徒たちにとって大きな指針になったと思います。今回学んだことが、今後の練習に生かされることを願っています。



芳賀・真岡支部

ポップス講習会332名参加で盛り上がる！

8月20日（金）に、真岡市民会館にて昨年度に引き続き、プロの先生をお呼びしてポップスの奏法を学ぶ実技講習会が開かれました。小学生と中学生、高校生の2つのグループに分かれて午前はパート別の基本練習、午後はポップス曲の練習をしました。技術の向上はもちろん、普段味わうことができない雰囲気を十二分に楽しむことができました。

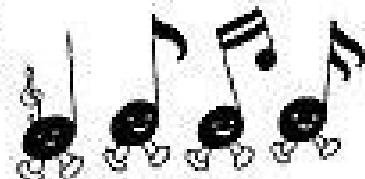
東関東大会に出場決定しました！

7月末から8月上旬に行われた県吹奏楽コンクール。本地区からは下記の学校が東関東大会に出場することができました。次の大会でも美しい音色を披露して、会場を沸かしてくれることでしょう。

小学校の部 真岡市立真岡西小学校

中学校日部門 真岡市立真岡中学校

高等学校日部門 栃木県立真岡高等学校



下都賀・小山支部

下都賀・小山支部の加盟団体を紹介します Vol.9

小山市立大谷中学校

私たち大谷中学校吹奏楽部は、松井先生、深津先生のご指導のもと、3年生7人、2年生17人、1年生14人で活動しています。部の雰囲気は、明るく、皆が楽しく部活に取り組んでいます。夏休みまではコンクールに向けて練習してきました。そして今は、運動会に向けての練習に励んでいます。3年生は、この運動会が終わったら引退なので、運動会では皆で最高の演奏ができたらと思っています。

私にとって部活動は、とても居心地がよく楽しくて大好きでした。後輩たちにもそんな風に思ってもらえたならと思います。私たち3年生が引退したあとも、皆が早く部活に行きたくなるような、そんな部であってほしいです。

（3年部長 田島 美生）

小山市立小山第三中学校

小山第三中学校 吹奏楽部のモットーは、一音一心 うまさ=練習量です。これは6年前の生徒たちが考えたもので、ずっと受け継いできたものです。

次に1年間のスケジュールを紹介します。4月 新入生対象部活動紹介 7月 小山地区吹奏楽フェスティバル、栃木県吹奏楽コンクール 9月 運動会、下都賀地区学校音楽発表会 10月 楽器別講習会、栃木県学校音楽祭、文化祭 11月 小山市民文化祭 12月 小山地区ソロコンテスト、県アンサンブルコンテスト 1月 栃木県吹奏楽コンテスト 2月 小山地区合同練習会 3月 小山地区バンドフェスティバルと、こんな感じでいつも目的を持って練習を行っています。ところで吹奏楽部のきまりがあります。1.絶対に仲間はずれをしないこと。何があっても悪口、陰口を言わないこと。2.生徒指導の問題を絶対に起こさないこと（服装、髪型等）3.みんな仲良く！これも三中の伝統となっています。

（顧問 今森 真由美）

上都賀支部



《吹奏楽コンクール特集》

■ 毎年のことではあるが、今年も夏の吹奏楽コンクールでの大きな反省点が出ている。まず、客席での携帯電話の使用である。(特に高校生の出場の日に多かったようだが)その日の会場での指導には限界がある。各校での事前指導を徹底させたいものである。

また、ステージセッティングについては、打楽器の搬入、搬出に時間がかかりすぎている学校が多い。毎年、同じことが言われているのに進歩の無い学校が多く残念である。できるだけ素早くセッティングできるよう、各校での更なる努力を期待したい。

(コンクール運営委員)

■ 夏のコンクールで、ドア係やその他の運営の手伝いをしている高校生や中学生の仕事ぶりは、とても熱心でいつも感心しています。長時間立ったままや、逆に座ったままの生徒もいるらしくとても大変だなと思います。特にドア係は、たまに心ない人がいて演奏中でも入ろうとしたりする場合があるようです。私たち鑑賞する側も手伝いの生徒に協力するような姿勢を忘れないようにしたいです。 (大田原市:女性)

■ 孫が中学校の部に出場するというので、初めて吹奏楽コンクールを聞かせていただきました。とても立派なホール、素晴らしい演奏にただただ感激するばかりでした。特に孫の出ている学校の演奏には、涙が出るほど感動いたしました。また、あれだけ多くの学校、そして多くの楽器がめまぐるしいほどにステージに出場され、しかも短時間の内に運営されていることにも驚きました。このような稽古を通して、子どもたちが生き生きと成長していくことを強く願います。 (西那須野町:女性)

■ ステージで各楽器、パートがバランスよく(美しく)セッティングされている学校は演奏も良いように思います。また、セッティングがや片づけが素早くできる学校も、演奏が素晴らしいことがほとんどです。セッティングの様子と演奏の善し悪しとは、ほぼ比例するように思います。 (審査員) (再掲)

■ ステージに入場、退場するときの生徒の楽器の持ち方が気になる。体の横で片手でぶら下げるよう楽器を持つ生徒、Tp.など管の一部に手首を通して(ぶら下げて)いる生徒が目立つ。移動するとき、楽器は体の前で赤ちゃんを抱くような気持ちで大切に扱って欲しい。楽器を粗末に扱うような団体は演奏も良くないことが多い。 (審査員) (再掲)



◆ ◆
☆ 好評の「マイバンド・マイミュージック」
次回は、「県立小山城南高等学校吹奏楽部」を予定しています。
◆ ◆

2004年10月 コンサートカレンダー 桜木県吹奏楽連盟

日	曜	項 目	備 考
1	金	那須地区学校音楽祭 黒磯市文化会館大ホール 9:40 開演 全自由席 無料 ★那須地区小中学校の合奏・合唱の発表	
		塩谷地区学校音楽祭 矢板市文化会館大ホール 13:40 開演	
14	木	足利地区学校音楽祭 足利市民会館大ホール 9:30 開演 ★足利市内の小・中・高による合唱、合奏の発表	
23	土	第10回 5校合同演奏会 那須野が原ハーモニーホール大ホール 13:00 開演 無料 ★三島中学校・大田原中学校・湯津上中学校・若草中学校・西部須野中学校 (演奏順)による各校ステージ、および合同演奏 ●合同演奏曲 「セドナ」「シンクロ BOM-BA-YE」「カンタベリーコラール」 「ライオンキング」「栄光の架橋」	

2004年11月

日	曜	項 目	備 考
21	日	益子中学校吹奏楽部第15回定期演奏会 益子町民会館大ホール 13:30 開場 14:00 開演	
27	土	スwing・トワイライト・ジャズ・オーケストラ 第30回演奏会 宇都宮市文化会館 18:00 開演	
28	日	姿川第一小学校吹奏楽部 ドリームコンサート2004 宇都宮市文化会館小ホール 13:30 開演 全自由席	

2004年12月

日	曜	項 目	備 考
		栃木県アンサンブルコンテスト 11日(土)、12日(日) 芳賀町民会館 18日(土)、19日(日) 芳賀町民会館 23日(木・祝) 鹿沼市民文化センター	
26	日	真岡北陵高校吹奏楽部 第10回北陵定演 真岡市民会館大ホール 14:00 開演	